

開館15周年記念事業

歌舞伎公演

「太刀盗人」

ワークショップ付き



※既公演よりイメージ写真

2019年
8月10日(土)

行徳文化ホールI&I

13:30開場 14:00開演



- 第1部 歌舞伎の楽しみ方「立ち廻り〈参加型〉」
- 第2部 歌舞伎 松羽目物「太刀盗人」
(出演予定) 帆之壺 花柳琴臣 藤田隆之 大河寛 立花志十郎

全席指定

一般 3,000円 高校生以下 1,000円

ローズメンバーズ 一般のみ 1,000円引

※未就学児入場不可。 ※お車でのご来館はご遠慮ください。



プレイガイド

一般発売 2019年3月24日(日) 10:00

発売初日

市川市文化会館 047-393-7111
 財団公式ホームページ <http://www.tekona.net/>
 チケットぴあ 0570-02-9999
 (Pコード: 493-128)

発売日翌日以降

行徳文化ホールI&I 047-701-3011
 市川市文化会館 047-379-5111
 芳澤ガーデンギャラリー 047-374-7687
 財団公式ホームページ <http://www.tekona.net/>
 チケットぴあ 0570-02-9999
 (Pコード: 493-128)

主催・問: (公財) 市川市文化振興財団
047-379-5111

財団公式キャラクター
アートくんと
メロディーさん



<http://www.tekona.net/>
後援: 市川市教育委員会

開館15周年記念事業
歌舞伎公演「太刀盗人」(ワークショップ付き)

第1部 歌舞伎の楽しみ方「立ち廻り〈参加型〉」



テレビや映画などの戦いのシーンの部分のことを専門用語で「殺陣(たて)」と言います。一方で、映画やテレビができる前、江戸時代から続く歌舞伎では「立ち廻り」という言葉を使います。

「殺陣」というと、一般的には「本当に戦っているように見える」ことや「スピード感」が重要視されますが、歌舞伎の「立ち廻り」では、「如何に舞台を一枚の躍動感のある絵のように見せるのか」ということが重要視されます。これは殺陣が映画やテレビなど、カメラワークと一体となった世界で使われるのに対し、歌舞伎の立ち廻りが基本的には舞台を見に来た観客席の視点からの世界で発展してきたという違いがあるのかもしれません。

今回皆様にご覧いただく立ち廻りには、いくつかの「型(かた)」と言われるものがございます。刀を構え、山を切るように刀を振る「やまがた」と言われるものや、「霞(かすみ)」「からうす」など、名称を聞くだけでも、歌舞伎の雰囲気は伝わるかと思えます。また、立ち廻りと聞くと、「あぶない」というイメージを持たれるかも知れませんが、当日ご覧いただくこの「型」というものがあるおかげで、相手を絶対に傷つけない動きとなっていることを確認いただけたらと思います。歌舞伎が生まれて400年以上、伝統の中で培われてきた、知恵や工夫を鑑賞いただければ幸いです。

第2部 歌舞伎 松羽目物「太刀盗人」

〈出演予定〉帆之丞 花柳琴臣 藤田隆之 大河寛 立花志十郎

田舎者の万兵衛が持っている立派な太刀に目を付けた、すっぱ(盗人)の九郎兵衛がその太刀を奪おうと争っているうち、どちらの所持品なのかわからなくなってしまいます。目代が従者を連れて出てきて、田舎者とすっぱを裁くこととなりますが、太刀の由来や銘などを聞いてもどちらも同じ答えです。田舎者はすっぱが立ち聞きして自分の答えをマネしていることに気づき、最後に太刀の長さをすっぱに聞こえぬよう目代に小さな声で伝えます。すっぱはついに太刀の寸法が言えず、悪事露見となってしまふという、歌舞伎の名作です。



行徳文化ホール | & |

東京メトロ東西線行徳駅より徒歩5分
千葉県市川市末広1-1-48 TEL 047-701-3011